

事業所名

多機能型事業所こーず

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7

年

3月

15日

法人 (事業所) 理念		幸' s =全ての人の幸せのために 「人を幸せにする」には、まずは自らが「幸せ」でなければいけません。 自らが「幸せ」になるためには、どんな困難な状況にあらうとも、前向きな考え方で あることが重要です。前に進もうとすることで、人としての成長しようとする力「人間力」が高まっていき、成長につながります。自らの成長が会社を進展させ、会社の発展が地域社会への貢献に つながる。そして最終的に自身に関わる全ての人の「幸せ」を実現することができるのです。これが幸' s のグランドデザイン (全体構想) です。私たちはこの理念を常に心に刻み、 全ての人が「幸せ」になれる社会をこれからも目指してまいります。						
支援方針		お子さまの成長には、それぞれのペースがあります。私たちは、一人ひとりの発達段階や特性に合わせた支援を大切に、遊びを中心としたプログラムを通じて「できた！」の喜びを増やしていきます。経験豊富なスタッフがお子さまの興味を引き出しながら、心身の発達を促すサポートを行います。						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支援内容						
本人支援	健康・生活	・食事、着替え、トイレなどの基本的な生活スキルを身につける ・「自分でできた！」という達成感を増やし、自信を育てる 活動例⇒ ・おはしやスプーンを使う練習 ・手洗い、片付け、靴を履くなどの習慣づけ		未満児クラス (1~2歳向け) プログラムの特徴 ✓保護者の方と一緒に参加できる「親子プログラム」あり ✓少人数制で、丁寧な関わりを大切に ✓遊びながら自然に社会性や言葉の発達を促す		活動例⇒ ・触れ合い遊びや音楽遊び ・簡単な運動遊び (ハイハイ、つかまり立ち、歩く練習) ・感覚遊び (手遊び、砂遊び、水遊び)		
	運動・感覚	・歩く、走る、ジャンプするなどの基本動作を身につける ・ボール遊びやバランス遊びで運動能力を高める ・触れる、掴む、押すなどの感覚刺激を通じて発達を促す 活動例⇒ ・トランポリン、すべり台、平均台を使った運動遊び ・粘土、ブロック、お絵描きなどの手遊びを使う遊び		以上児クラス (3歳以上向け) 3歳以上のお子さまを対象に、就学に向けた準備や集団生活の中での成長をサポートするクラスです。遊びを中心としたプログラムを通して社会性・言葉・運動能力・生活スキルをバランスよく身につけていきます。		プログラムの特徴 ✓友だちと一緒に遊びながら、ルールや協調性を学ぶ ✓「できた！」の成功体験を積み重ねて自信を育てる ✓ひとりひとりのペースに合わせた個別支援も実施 ✓小学校入学に向けた生活習慣、学習の土台作り		
	認知・言語	・ことばの理解を深め、自分の気持ちや要求を伝えられるようにする ・絵本やリズム遊びを通して語彙力や表現力を育む ・数や形、ルールを理解する力を養う 活動例⇒ ・絵カードを使ったコミュニケーショントレーニング ・手遊び歌や絵本の読み聞かせ		①社会性・コミュニケーションの発達支援 ・お友だちや先生と適切に関わる力を育てる ・「順番を守る」「ルールを理解する」などの集団行動を練習 ・自己表現や気持ちの伝え方を身に付ける		活動例 ・ごっこ遊び、ロールプレイ (お店屋さんごっこ、病院ごっこなど) ・みんなで協力して行う工作やゲーム ・挨拶や簡単な会話の練習		④生活スキル、就学準備 ・身の回りのことを自分でできるようにサポート ・学習や給食、トイレなど、小学校生活に必要な力を育てる ・時計の見方や簡単なルールを理解する 活動例 ・カーペット運動 (平均台、トンネルくぐり、マット運動) ・ボール遊び (キャッチ、ドリブル、転がし遊び) ・リズム遊び (音楽に合わせて体を動かす)
	創造力・表現	・自由な遊びを通じて創造力や発想力を豊かにする ・音楽やアート活動で自己表現の楽しさを知る 活動例⇒ ・お絵描きや工作で想像したものを形にする ・音楽に合わせて体を動かすリトミック		②生活スキル、就学準備 ・身の回りのことを自分でできるようにサポート ・学習や給食、トイレなど、小学校生活に必要な力を育てる ・時計の見方や簡単なルールを理解する		活動例 ・カーペット運動 (平均台、トンネルくぐり、マット運動) ・ボール遊び (キャッチ、ドリブル、転がし遊び) ・リズム遊び (音楽に合わせて体を動かす)		④生活スキル、就学準備 ・身の回りのことを自分でできるようにサポート ・学習や給食、トイレなど、小学校生活に必要な力を育てる ・時計の見方や簡単なルールを理解する 活動例 ・カーペット運動 (平均台、トンネルくぐり、マット運動) ・ボール遊び (キャッチ、ドリブル、転がし遊び) ・リズム遊び (音楽に合わせて体を動かす)
	社会性・情緒	・お友達と一緒に遊ぶ中で、順番やルールを学ぶ ・気持ちを言葉で伝える練習をする ・ストレスを軽減し、安心できる環境で過ごす 活動例⇒ ・ごっこ遊びや集団遊び ・スタッフと一緒に「ありがとう」「ごめんね」を練習		③認知・言語 (学習の土台作り) ・ひらがなや数字に興味を持ち、学習への興味を育む ・話を聞く力、質問に答える力を養う ・ワーキングメモリを強化し、順位たてて考える力を伸ばす		活動例 ・絵本の読み聞かせ & 質問応答 ・パズルや迷路遊びで思考力アップ ・ひらがな、数字カード遊び		④安心して遊べる環境 ・少人数制で、一人ひとりにあわせた支援 ・個別プログラムで苦手なことに無理なくチャレンジ ・保護者サポートも充実 (育児相談、連携)
家族支援		お子さまの成長には、ご家族の理解とサポートが不可欠です。 私たちは、保護者の皆様が安心して子育てができるよう、育児相談やペアレントトレーニングなどを通じて支援を行っています。		✓個別育児相談 (発達・行動の悩み、家庭での関わり方) ✓ペアレントトレーニング (子どもへの行動理解・効果的な接し方) ✓保護者向け勉強会 (発達支援・就学準備・感情コントロールなど) ✓家庭で取り組める発達支援のアドバイス (遊び方・学習サポート) ✓保護者同士の交流会 (悩みを共有し、情報交換できる場づくり)		移行支援 児童発達支援を利用するお子さまの多くが、保育園・幼稚園から小学校へ ✓小学校・園との連携によるスムーズな引継ぎ または、年齢に応じた新しい環境へ移行していきます。その際、スムーズに対応できるよう、個別のニーズのニーズに合わせた移行支援を行います。 ✓学校見学・体験入学への同行やアドバイス ✓学習や生活面での個別の課題に応じた支援計画の作成		
地域支援・地域連携		地域と連携することで、支援の継続性を高め、生活全体を通じた発達支援が可能になります。 ✓保育園、幼稚園、学校との情報共有 (発達状況や支援内容の引継ぎ) ✓関係機関との連携 (市町村の福祉課、児童相談所、医療機関、リハビリ施設など) ✓地域イベントの参加、交流の場づくり (親子参加型の行事、遊びの広場など) ✓地域支援機関との勉強会や研修の実施 (発達支援の理解を深める機会の提供)		職員の質の向上		社内研修・定期的なミーティング・専門分野の外部研修への参加		
主な行事等		イベント こども屋台ごっこ パス、電車でおでかけ ハロウィンイベント 芋掘り 親子レクリエーション クリスマスイベント 体験イベント(米作り)						